

特集1

地域ケアにつながる 「退院看護サマリー」の書き方

病院から地域へ、という流れが加速しています。病院を退院する時には時間をかけて書いている「退院看護サマリー」ですが、地域の人へ渡しても、残念なことに十分に活用されていないという声があるのです。どうやら病院と地域では、同じ単語でも違うことを指していたり、そもそも必要とする情報が違うということが見えてきました。そこで本特集では、病院と地域の専門職の意見をすりあわせつつ、理想の「退院看護サマリー」用紙を提案していきます。

特集2

フィンランドで効果を上げる驚きの救急対応 「オープンダイアログ（開かれた対話）」

統合失調症の救急時といえば、現在は「投薬」がファーストチョイスですが、フィンランド・ラップランド地方のある地域では、その常識をくつがえす治療法が行われています。救急の電話連絡が入ると、専門職が自宅へ駆け付け、そこで当事者の前で忌憚ない意見を言い合い、それを必要日繰り返す……その方法により、投薬なしに良好な治癒率が上がっているのです。それが事実だとすると、統合失調症治療の風景が変わってくる可能性があります。斎藤環先生、石原孝二先生に解説いただきます。

特別記事

診療報酬改定と、精神保健福祉法改定。
私はこれに注目しました。

連載

大学院での研究の裏にあった
葛藤を語る ◎会田玲子

*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

編集後記

見て、触れて、話しかける、を基本とするユマニチュード。私も何度も取材しましたが、認知症の人がユマニチュードケアを導入すると瞬間に変わるので、一部のメディアが報じたように「魔法」「奇跡」と表現したくなるのもわかるなあと思いました。でもジネスト氏に言われたのです。「魔法」「奇跡」とは表現しないでほしい。人間とは何かという洞察にもとづいた「技術」なのだということをきちんと報道してほしい」と。確かにそうですね。魔法や奇跡だったら、ジネスト氏にしか実現できないことになります。哲学や技術だからこそ、普及が可能なのですから。……石川

医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

ウェブマガジン『かんかん!』 <http://www.igs-kankan.com>

精神看護 第17巻第3号 2014年5月15日発行(隔月刊) 発行: 医学書院 代表者: 金原優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2014, Printed in Japan 販売部: ☎03-3817-5659

『精神看護』編集室: ☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当: 石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp

本文・表紙デザイン: 高見清史 (view from above) 表紙イラスト: 寺村栄次 (SCOS) 印刷・製本: 緯アイワード

1部定価: 本体1,200円+税 2014年間購読料(税込、送料弊社負担、年間6冊) 7,590円(冊子版) / 10,590円(冊子+電子版/個人) / 11,700円(冊子+電子版/共有) / 7,590円(電子版/個人) / 8,700円(電子版/共有)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能権を含む)は医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

©COPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社) 出版者著作権管理機構(☎03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@copy.or.jp)の許諾を得てください。

*『精神看護』は、株式会社医学書院の登録商標です。